

# 事後評価シート

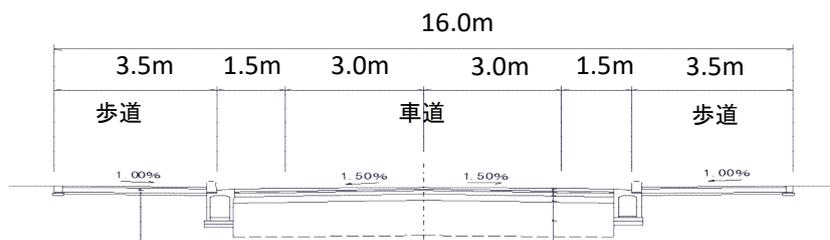
事業名	街路事業		事業課名	都市計画課	
箇所名	蚊口高月線		市町村名	高鍋町	
事業費	2,867百万円	事業期間	H14~H24	評価実施年月	平成30年2月

## 1 全体計画

### 概要図



### 標準断面



## 2 事業目的

蚊口高月線は、高鍋駅と高鍋町役場を結び、居住地・商業地・公共施設等が集中している高鍋町の中心市街地を東西に貫く幹線道路である。

事業区間は、中心街で交通量が多いことに加え交差点部に右折レーンがなく混雑を招いていることや、歩道が未整備であることから通学児童の安全確保が課題であった。

また、南海トラフ巨大地震時には、津波により市街地の広範囲が浸水すると想定されており、避難路としての機能向上が求められていた。

このため、交通混雑の解消及び歩行者自転車の安全確保と合わせ、避難路として機能する道路整備を目的とし、更には、事業箇所は商店街となっていることから、今回整備した道路が、人々が集う重要な公共空間となるよう、地域住民と連携した道路整備を行ったものである。

なお、当工区は本路線の内、唯一の未整備区間であり、当工区を整備することで、全線の整備が完了する。

### 3 事業効果の発現状況等

#### (1) 事業効果の発現状況

##### ①安全性の確保・交通混雑の解消

- ・車道の拡幅や交差点部に右折レーンを新設したことで、車両の円滑な交通が確保でき、混雑時における走行速度が向上した。

混雑時における走行速度の向上【約8km/h改善】

供用前 (H11) 交通量 (ピーク時 17:00~18:00) : 667台/時 平均速度 28.7km/h

供用後 (H27) 交通量 (ピーク時 17:00~18:00) : 861台/時 平均速度 36.9km/h



##### ②歩行者の安全確保

- ・両側に歩道を設置したことで、交通事故が減少し、通学児童をはじめとした歩行者等の安心・安全な通行が確保された。

蚊口高月線（県道高鍋高岡線）の交通事故発生件数

事故発生区間	事故形態	【供用前】	【供用後】
		(H23~H25の平均)	(H26~H28の平均)
蚊口高月線 (道具小路交差点~旭通交差点)	全体	13	8
	人対車両	4	0.7

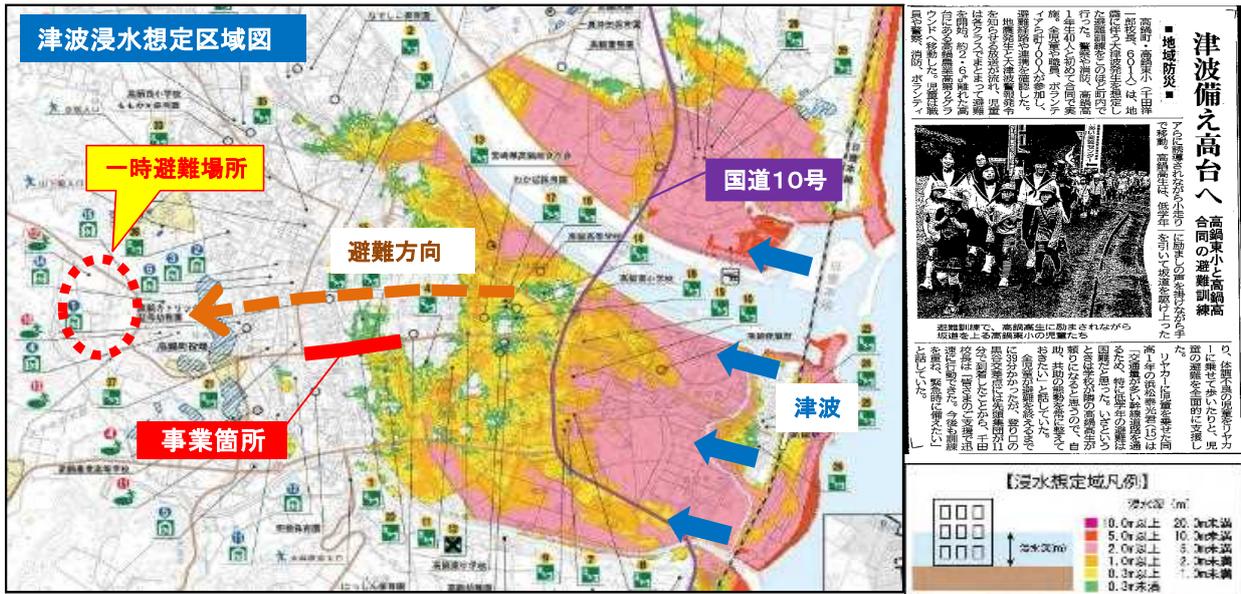
→ 約4割減少

→ 約8割減少



### ③災害発生時の避難路としての機能向上

・南海トラフ巨大地震による津波発生時の避難道路として、機能向上が図られた。



**津波備え高台へ 高鍋東小と高鍋高 合同の避難訓練**

高鍋市、高鍋小児童と高鍋高校生が合同で避難訓練を実施した。高鍋小児童は、高鍋高校生と一緒に高台へ避難し、避難訓練を行った。高鍋小児童は、高鍋高校生と一緒に高台へ避難し、避難訓練を行った。高鍋小児童は、高鍋高校生と一緒に高台へ避難し、避難訓練を行った。



○南海トラフ巨大地震による津波の浸水想定では、高鍋町は、国道10号をはじめ、市街地の広範囲が浸水すると想定されている。

○当路線は、町の緊急輸送道路に指定されており、避難路としても重要な役割を果たす。

○OH26.11 高鍋東小児童と高鍋高校生が合同で避難訓練を実施。

### ④城下町の雰囲気漂う景観の形成

- ・本路線の整備にあわせて、地元商店街が「高鍋町まちなか商業活性化協議会」を発足し、沿線にある一部の建物を「町家風」に改築し、良好な景観を形成することができた。
- ・歩道整備にあたっては、新しい街並みの調和に配慮したデザインの舗装（平板ブロック）を採用したことで、城下町らしさを創出することができた。
- ・平板ブロックのデザインや街路樹の選定に当たっては、地域住民との意見交換を踏まえて決定するなど、官民一体となって公共施設の整備を進めることができた。



- ・協議会では、若者のリーダー達が中心となり、まちづくりに関する県外視察やシンポジウムを開催するとともに、まちの活性化に向けた取り組みとして、「景観ガイドライン」の策定や、各種のプロジェクトを実施した。

～のれんプロジェクト～

(高鍋らしい趣のある街並みを形成)



～あかりプロジェクト～

(歴史芸術文化の香る街並みを形成)



47基設置(H30.1現在)



← 協議会で作成した『景観ガイドライン』

※屋根や外壁の素材、色彩等の考え方を示している。

⑤ イベント等の開催によるにぎわいの創出

- ・地元と行政が一体となって整備したことで、沿道でのイベント開催や物産館がオープンするなど、地域の賑わいの創出に寄与できた。



道路空間を利用したイベントの様子



夕焼市の様子

「高鍋町商店街」は、まちづくりに取り組む活動が評価され、平成25年12月、経済産業省が選ぶ「**がんばる商店街30選**」に選定された。

【選定理由】

- ・商店街の景観に統一性を持たせ、商店街の歴史的・文化的空間づくりを実現している。
- ・若く行動力のある2代目、3代目のリーダー達が中心となり活動を行っており、将来性・発展性が期待できる。

## (2) 利用者の評価

### ① 調査期間

平成29年10月～11月

### ② 調査対象

- ア. 蚊口高月線沿線6地区住民 540人
- イ. 近隣学校の職員及び生徒 559人 } 計1,099人
- ・高鍋東小学校（職員9人、児童70人）
  - ・高鍋東中学校（生徒183人）
  - ・高鍋高校（職員38人、生徒107人）
  - ・高鍋農業高校（職員31人、生徒121人）

### ③ アンケート内容

- ア. 交通混雑の解消につながったか
- イ. 歩行者の安全性が確保できたか
- ウ. まちの活性化に役立ったか
- エ. 完成後の街並みや雰囲気はよくなったか。
- オ. 防災面での効果があったか（避難路としての機能）

### ④ 集計方法

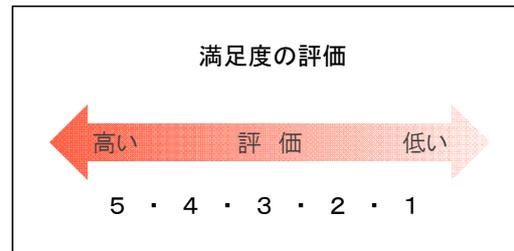
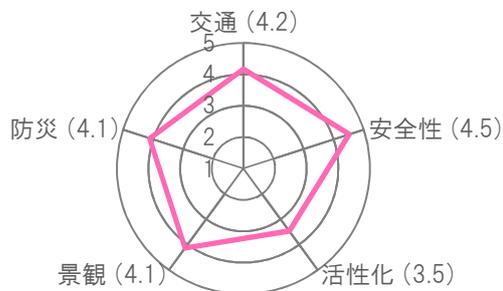
各項目を5段階で評価

### ⑤ 回収状況（有効票のみ）

- ・周辺地区住民 163票（約30%）
- ・学校職員 78票（100%）
- ・児童生徒 477票（約99%） } 約65%

### ⑥ アンケート結果

利用者の評価(サンプル数718人)



#### 【住民の声（アンケートの自由意見より）】

- ・歩道を安心して歩ける。（小学生）
- ・道路が広がったことで、いろいろな人が集まりやすくなったと思う（中学生）
- ・雰囲気が良く、通るたびに嬉しくなる（高校生）
- ・この道路で祭りなどをして欲しい。（高校生）
- ・景観が良くなれば、観光客も増えると思う（40代女性）
- ・明るく、落ち着いた雰囲気が出ている。（50代男性）

#### 【事業所ヒアリングの結果】

- ・祭りやイベントの際は、多くの人が集まるようになった。
- ・複数の商店街が合同でイベントを行うようになった。
- ・街路樹として選定したヤマボウシが好評。
- ・街並みをみて、城下町であることを再認識されるようになった。

<p><b>4 事業による環境の変化や環境の保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水性舗装で施工したことにより、雨天時の走行性が向上するとともに、交通騒音が軽減された。</li> <li>・歩道に植樹したことにより、まちなかに緑を創出し、道路利用者の快適性の向上が図られた。</li> </ul>
<p><b>5 施設の維持管理状況</b></p> <p>適正に維持管理されており、道路管理上の問題は無い。また、日常的に観光協会や沿線住民が美化活動（清掃）を行っている。</p>
<p><b>6 今後の事後評価の必要性</b></p> <p>当該区間の整備により、円滑な交通の確保や自転車・歩行者の安全性の向上が図られるなど、所定の効果が得られており、今後の事後評価の必要はない。</p>
<p><b>7 改善措置の必要性</b></p> <p>当該区間の整備により、円滑な交通の確保や自転車・歩行者の安全性の向上が図られており、今後の改善措置の必要はない。</p>
<p><b>8 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の必要性</b></p> <p>特になし</p>